



須田っ子 第14号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」SA・SU・QA・DA



胸いっぱい… ～6年生を送る会～ から (2018.3.7)

来年もしてください！

昨年度から始まった「須田小ドッジボール大会（通称、さすだカップ）」も、通算6回を重ねる大会になりました。オリンピック並に、僅

だと感じました。

子供の成長にはとても大切だと感じました。

確かに、教育は意図的・計画的な営みの積み重ねです。上手いかわない時に、すぐ手助けすることもできます。ただ、「偶然」を楽しむことも、子供の成長にはとても大切だと感じました。

先日あった、新一年生を「おもてなし」する会での出来事です。鉛筆や箸の持ち方を教える段階になって、予期せぬ事態が発生しました。なんと、想定外の「左利き」の子供の出現に、担当の子供は大弱ります。自分の体をよじらせ教えますが、上手く伝わらなせん。泣きそうになった瞬間！奇跡的に正しい持ち方になり一件落着です。横でハラハラ見ていた私を横目に、互いの顔を見合わせ笑顔で一杯になりました。

「須田小物語」
校長 内山 晋

最後にりましたが、本年度の「須田小物語」に御協力頂きました保護者、地域の皆様へ厚く御礼申し上げます。来年度も、どうぞよろしくお願

いいたします。

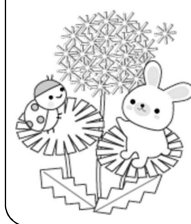
前向きな子供たちと共に、時に「偶然」も大切に、新しいステージに登ります。

新しいステージに！

こんなに素敵な子供たちと、また、一段高い、新しいステージに向かってチャレンジします。来年度から、新学習指導要領の移行期間です。道徳科、外国語科、プログラミング教育など、新しい教育の波が打ち寄せてきます。

差で5年生チームが優勝しました。一チーム6人という少数で行う試合形式のため、大どんでん返しも起きます。でも、驚いたことはもともとありました。会場の準備や運営係りを買って出る子供たちの存在です。どんな大会を進めていく子供たちに逞しく感じました。そして、試合後、校長室に、「来年（度）もしてください」「今度は優勝します」と宣言をする子供たちが来ました。「来年もしましょう！」

4月のカレンダー



- 4/ 5日(木) 新年度準備作業(新6年生)
- 6日(金) 新式 始業式 入学式
- 9日(月) 新2-6年給食開始 5限放課
- 10日(火) 全校給食開始 1年4限放課
- 11日(水) 全校朝会 委員会①
- 12日(木) 知能検査 (新2,4,6年生)
- 13日(金) 校外須童会 集団下校
- 17日(火) 全国学力学習状況調査
- 18日(水) 校外須童会 委員会②
- 19日(木) 新4-6年生内科検診
- 交通安全教室

- 20日(金) 新1-3年生内科検診
- 21日(土) **一年生を迎える会 【弁当の日】**
学習参観日・育友会総会 【月曜日時程】
- 23日(月) 振替休業日
- 25日(水) ありがとう集会 預り金振替日
※4限給食下校(～27日)
家庭訪問① 田中新田,下鶴森,後須田1・2
- 26日(木) **家庭訪問②** 中鶴森,砂押新田,前須田
後須田4,北溝
- 27日(金) **家庭訪問③** 上鶴森,後須田3,五反田
- 29日(日) 昭和の日 30日(月) 振替休日

素敵・須田！ 12人のエンジェル学年 ～ 全校で創った 六年生を送る会 ～



5年生が中心となって実現した、6年生を送る会が、3月7日に行われました。全ての学年が自分の役割を精いっぱい果たす姿が見られました。当日は、20名以上の保護者の方の参観もありました。ありがとうございました。

「おもてなし」の気持ちが満載の集会になりました。上の写真のように、一人ずつポーズを決めた6年生に向け、感謝のメッセージを伝えるなど、一人一人を大切に、温かい会になりました。



表現する力 一歩前進

論理的にものごとを考える力、多様な考え方を身に付けることの大切さは、繰返し言われてきたことです。ただ、「論理」とか「多様」とかいう抽象的な言葉は、人によって受け止め方の幅が大き過ぎて、「本当に力がついたのか？」という問いに明快に答えることができていない反省点がありました。

確かに、表現のしかたは千差万別です。しかし、「自由に表現しましょう」では、自分の考えを十分表現できないことは、保護者の皆様も経験済みだと思います。そこで、須田小学校では、表現する力を伸ばす一歩として、文章構成の「型」を設定して指導をしています。今回、最後の学校だよりの紙面を使い、指導の経過を具体的にお示しいたします。はじめの一歩が大きな足跡となるよう頑張ります。

三学き「おひきい」

一年 三学きのはじめに、ぼくは、ろうかを正しくあるること、それから、百マスけいさんをがんばることを、めあてにしました。

まず、ろうかのあるきかたです。ぼくは、二学きまで、ろうかをはしってしまつて、ともだちから、「やりなおしをちゃんどやるんだよ」と、よくいわれたからです。三学きなつてから、はしつてやりなおしをすると、かえつてあそびにいくことがおそくなることにきがきました。だから、ちゃんとあるくようにきをつけました。

つぎに、百マスけいさんです。たしざんはとくいでしたが、ひきざんは時かんがかつていたからです。百マスけいさんをする時、たまに手をつかうこともありますが、ひきざんでもれんしゅうしたら、だんだんはやくできるよくなりました。いきまもちに

なりました。まだ、ちよつと手をつかつてけいさんすることもあるのは、はる休みにもれんしゅうします。二年生では、手をつかわないで、もっとせいかくにはやくできるようになりたいです。

三学きをひりかえつて

二年

ぼくの三学きの一番の思いは、一年生をむかえて、「あそびの広場」です。一年生の時、ぼくたちもしようたいされて楽しみました。そこで、一年生に楽しんでもらうために、ピー玉ころがしと「おり紙くじ」のお店をしました。

お店をつくるために、家からはお店をもつてきました。それに、お店のようにみせるために、色をぬることにしました。また、ゲームのようにするために、点数をつけて、ぼくが数えるかかりをすることにしました。

当日は、他の店に比べて、ぼくたちの店にすこく人がきま

した。どうして、来る人が多かったのか、あとから考えてみました。ピー玉ころがしもおもしろかったのですが、「おり紙くじ」がさい高でした。かんださんが、くじのしょう品として、ゴジラや、ようせい、ペガサスなど、かんだんにできないものを折り紙で作りました。かんださんにかんしやしています。一年生がすこくよるこんでくれたので、とてもうれしかったです。

ていねいの大切さ

三年

私が身に付けたことは、ていねいにするということです。たとえば、文字です。私は、あまり文字をていねいに書けませんでした。でも、ていねいに書くようにしたら、だんだん上手に書けるようになりました。妹の文字をみてあげることができるようになりました。姉妹で笑顔も多くなりました。

また、国語の学習でも、ていねいさを大切にしました。学習したことを発表するため、何度も、声の大きさや早さをたしかめながら練習をしました。本番の発表で、練習

一年間をひりかえつて

四年

漢字をしつかり覚えたい。これが四年生になつてからの目標でした。どうしてかという、三年生まで漢字を覚えることが苦手で、なかなか覚えられなかったからです。どうしたら覚えられるのかな。私は考えました。そうい

ば、三年生までは、漢字だけを練習していたのでなかなか覚えられなかったと思います。そこで、四年生では、ドリルを使って文章の形で書いて練習することにしました。すると、覚えることができるようになりました。つまり、漢字はじゆく語や文章にして、意味を考えながら覚えるという、ということがわかりました。テストの時にも、文章から考えて漢字を思い出すことができました。

春休みも、自分でやり方を工夫しながら学習をしていきたいと思ひます。

かしこい六年生に！

五年

私たち五年生の目標は、「かしこい五年生」です。一年間をふりかえつて自分の成長について考えてみたいと思ひます。

まず、「かしこい」の「か」と「こ」にかかわつて、「かつこよく、こまかい」ことができたと思ひます。相手のことを考え、使う言葉に気がつきました。下級生にも、困つていたら助けあげることができました。また、ひきょうなことをせず平等に一年

プロフェッショナルな夢へ！

六年

私の将来の夢は保育士になることです。それも、プロフェッショナルな保育士です。

では、私が考えるプロフェッショナルとは何でしょうか。

一つ目は、自分の目標に向かってひたすら努力することです。他の人よりがんばらないといけないこともたくさんあると思ひます。そして、努力した先には、いろいろな人の笑顔等で満足をもつこともあるでしょう。反対に大変だったけど、今まで感じなかった何かを得ることもあるでしょう。そこ

まで努力してこそ、プロフェッショナルな保育士だと思います。二つ目は、子供のことを考えてするということです。確かに、自分の目標に向かって、いくらでも、何でも努力できると思ひます。しかし、全てが子供たちを幸せにするとは言えないかもしれません。なによりも、保育する子供たちの成長を第一に考えなければならぬと思ひます。

医師の日野原重明さんは、97歳という高齢になつても、次のように述べています。「寿命という私に与えられた時間を、自分のためだけに使うのではなく、少しでも他の人のために使う人間になれるようにと、私は努力しています。」

私は、この文章を読んで、年齢に関係なく、夢を失わずに、努力し続けることこそ、プロフェッショナルだと思います。このように、目標に向かって努力し続け、そして、相手のことを考えてすることが、私の考えるプロフェッショナルな保育士です。この夢を大切に育てていきたいです。

「笑顔でペこり」～いつでも どこでも ひとりでも できるまで～

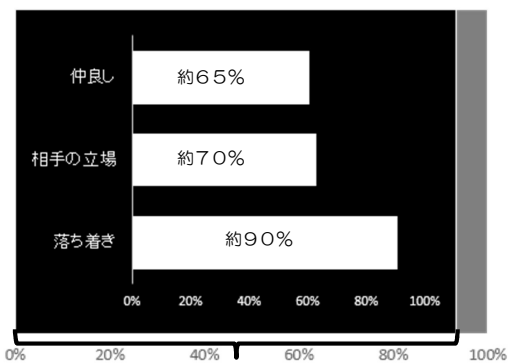
昨年末から全校で、交通安全の取組「笑顔でペこり」に取り組んでいます。

この取組に込められた思いには、次の2つがあります。「歩行者」と「運転者」の2つの視点で物事を考え行動できる力を付けてほしいということです。

「歩行者として」自動車が止まったことを確認するくらいの心持ちで行動できるようになってほしいです。また、「未来の運転者として」、道路を歩行者といっしょに使うという謙虚さをもってほしいということです。

これまでの指導を通して、常に意識して取り組んでいる(約95%)状況です。尚、この取組を通して、「落ち着いて行動するようになった」(90%)など、普段の生活への影響も見られます。「いつでも どこでも ひとりでも」できることを目指して、今後も指導してまいります。

「笑顔で ペこり」(須田小交通安全意識調査) H30.3.16現在



※「笑顔でペこり」をしている子供の割合(約95%)
 ※「笑顔でペこり」をして変わったこと(3つのグラフ)